

院長挨拶



愛媛県立中央病院 院長 中西 徳彦

2023 年 4 月 1 日より院長を拝命してから 1 年が経過し、年報でのご挨拶は 2 回目となりました。

2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類となり、1 年が経過しています。現在、感染症による病床数の減少はありませんが、看護師を中心としたマンパワー不足により、運用病床を減らさざるを得ない状況が続いています。

昨年度の診療実績は、延べ入院患者数 182,606 人、延べ外来患者数 297,397 人で前年比-3%程度と、新型コロナウイルス感染症前より減少したところからまだ持ち直してはいませんが、入院単価は 101,958 円、外来単価は 27,806 円と上昇しています。それに伴いまして、入院収益 186.2 億円、外来収益 82.7 億円、計 268.9 億円と前年より増加傾向にはございます。ただそれ以上に費用の増加(材料費、薬品費など)が大きく、経常収支は厳しい状況となっています。

現在、経営改善に向けて、看護師の採用増加、離職防止による病棟機能の向上を図り、病棟の効率的な運用を目指しています。具体的には、以前は個々の一般病棟に対して診療科が結びついていたわけですが、現在は空床があれば他科でも入

れるという混合病棟化に取り組んでいるほか、救急患者については、救命救急センターの病床を有効利用しています。また、レセプト最適化のための講習会、診療科ミーティングでの DPC コーディングのレクチャー、重症救急患者に対する救急医療管理加算算定の徹底、また細かなことではありますが、節電など収支の改善につながることを病院全体で取り組んでいます。

さて、ここ数年話題に上がっていた医師の働き方改革が今年度から開始となりました。働き方改革推進本部指導の下、各診療科においてチーム主治医制の導入、カンファレンスの勤務時間内実施、タスクシフトなどに取り組み、成果が上がってきています。ただ、働き方改革は医師のみにかかわることではなく、すべての職種に及ぶことでございます。我々の仕事は患者さん相手ですので効率ばかりを重視するわけではありませんが、それでも可能な限り無駄がないよう業務の見直しを行っていきます。

引き続き当院へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。